



月刊 住宅情報誌 躍進

<http://www.yakushin.jp>



躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

- ②面 ビューグリーンウォールで防汚・防菌塗装を!
- ③面 住宅・建築物技術高度化事業23件採択
- ④面 水害で再認識した豪雨対策の基本は適切な防水!

発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川1106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井 輝夫
頒価: 216円(送料込み)

九月十日、台風一八号から変わった低気圧の影響で、栃木県、茨城県、埼玉県を中心に、数十年



水害はその後の処理が肝心です(資料画像)



家を災害から
復旧させるため

早急に 防菌・防蟻・防腐 処理を実施してください!

●様々な後処理が
家を長持ちさせる
業において、忘れてなら

こうした被害の復旧作
業において、忘れてなら

九月十日、台風一八号から変わった低気圧の影響で、栃木県、茨城県、埼玉県を中心に、数十年

水害はその後の処理が肝心です(資料画像)

生活空間である床上に

生活空間である床上に

分解して、木材を多孔質

理をはじめ、適切な防菌

立派な人は何事におい

躍進における「利益

古来より様々な言葉で、

きちんと税金を納め

罪悪であり、絶対に避

を上げる仕事をすること

経営者として正しい

道徳をもちて利益を

行動は、言うまでもな

三、正しく納税するた

をめぐって、

をめぐって、

をめぐって、

をめぐって、

「足場パック」の人気商品 ビュークリーンウォール で防腐・防菌塗装を!



水害に至らなくても、以下の影響で家の劣化はどんどん進みます。

①雨・雪・湿気
建物に水が侵入すると内側から腐食します。

②CO₂

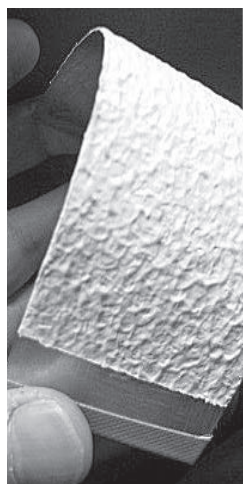
一面でもご案内しておりますように、水害の後処理は非常に重要です。しかし、屋内や床下だけ、適切な後処理をすればOKというものではなく、やはり外壁にも塗り替えや、その後の水害に備えた処置が必要です。それが不十分であると、躯体が腐食する可能性があります。

様々な自然現象が建物にダメージを与える

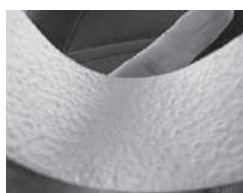
③熱
厳しい温度変化は、結露を引き起こし建物を腐食させます。

④汚れ・カビ・こけ
美観を損ね、人体への影響が懸念されます。また、建物の腐食を促進させ寿命を縮めます。

⑤紫外線
紫外線は建物にとって最大の敵。直接さらされ続けると、建物が劣化し寿命を縮めます。



塗装サンプルを曲げてても(写真左および下)一切クラックが入らない優れた弾性を誇る。



外壁にこんなサインが出たら要注意

①外壁を手でこすると手

外壁の塗り替え時を示す兆候として以下のようない現象があげられます。

②外壁の汚れが目立つ
外壁の汚れのなかでも多いのが、コケ・藻・カビ。これらの育成条件はおおよそpH中性域及び適度な日光・温度(二五・三〇℃)と湿気がある条件のもとで発生するものです。

③塗膜が剥がれている
この剥がれた部分から大気中のCO₂や水が浸入してしまい、内部を痛めてしまいます。

④外壁にひび割れが入っている
外壁に走ったクラックを放っておくと、大気中のCO₂や水分(雨水等)の浸入により、外壁塗膜や内部を浸食し、建物が早く傷みます。早めの処置をお勧めします。

⑤外壁にこんなサインが出たら要注意

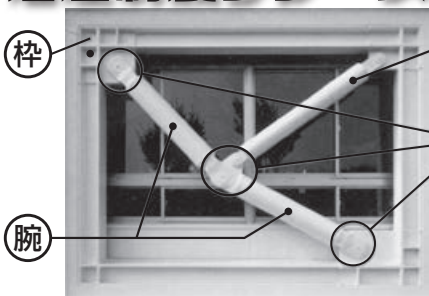
①外壁を手でこすると手

家の長持ちの最大の秘訣はなんといっても適切な防腐・防菌塗装です。お問い合わせは躍進までお気軽に。

開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

増幅機構付き
油圧制震ブレース



オイルダンパー

日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)

強度に優れた鍛造品を使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。一般的に疲労度が大きい箇所や剛性が要求とされる部分に使われます。

鋳造品ではなく
鍛造品を使用!

ますます好評!

トグル制震構法

お問い合わせは
躍進までお気軽に!

〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

ニュース・新製品・政策・経営・インフォメーション

【国交省】住宅・建築物技術高度化事業
木製クワトロサッシなど
二・三件採択

国土交通省は九月十六日、新しい技術の開発を支援する「住宅・建築物技術高度化事業」の採択提案を公表しました。環境対策や健康向上に資する技術開発七件、ストック活用、長寿命化対策に資する技術開発四件、防災性向上や安全対策に資する技術開発二件の計二・三件が選ばれました。環境対策や健康向上に資する技術開発などは、モ

ルタルによる断熱工法や高機能フィルムを用いたガラス複合体の開発・評価、木製クワトロサッシの開発とローコストエコハウスへの適応技術開発などが選ばれました。ストック活用、長寿命化対策に資する技術開発では、木造陸屋根及び木造ルーフバルコニーにおける耐久性向上のための技術開発などが選ばれました。

リフォームの理由、「設備や機器の一新」が1位に

「ORICON STYLE」を運営するOricon Me(東京都港区)は、20代から40代の持ち家に住む既婚者を対象に、リノベーションやリフォームを実施したことがある経験者200名と、現在検討中の希望者300名を対象に「住宅リノベーション/リフォームに関する意識実態調査」を実施しました。

リノベーションやリフォームをしたいと思った理由は、「設備や機器を一新したかったから」が1位となり、機能面を重視することが今のトレンドであると分かりました。

また、リフォームしたい場所の1位はキッチンで、時短や効率性といった使い勝手のよさを求める姿勢が鮮明となりました。リノベーションやリフォームの経験者の95.5%が「リフォームやリノベーションをしてよかった」と回答しています。

防災性向上や安全対策に資する技術開発では、間伐材を活用した倒壊防止型一部屋耐震補強工法

や住宅用基礎梁の開口部補強構造に関する技術開発などが選ばれました。

「サステナブル建築物等先導事業」支援
対象住宅を募集開始

国土交通省は九月十五日、省CO₂化を進める優れた先導的な住宅・建築プロジェクトを支援する「サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)」の今年度第二回の提案公募を開始しました。募集期間は十月二十六日まで。採択事業の公表は十二月下旬から来年一月月上旬の予定です。

対象事業は、住宅・建築物の新築、既存の住宅・建築物の改修、省CO₂のマネジメントシステムの整備、省CO₂に関する技術の検証。補助額は対象費用の二分の一以内。補助額の上限は戸建て住宅については、原則一戸あたり三〇〇万円となります。

新築に設けられる最も厳しい区分に適用される開口部の熱貫流率基準は一から三地域が一・六〇W/mK、四地域が一・三三W/mK、五から七地域が一・四九W/mKというものです。開口部比率が一から三地域で一四%を超える場合や四から七地域で一五

省エネ基準検討会
住宅仕様基準で開口部比率の制限撤廃案

国土交通省と経済産業省は九月十一日、「建築物省エネ法」の新しい省エネ基準を検討する合同有識者会議を開催。その場で基準の素案を示しました。

新しい基準のベースは現行の「平成二十五年基準」ですが、現行基準で規定されている住宅の仕様基準の開口部比率の制限については、開口部の熱貫流率が一定以上の場合合は開口部比率の制限をなくす具体的な案が示されました。この場合、開口部比率の計算も不要になります。

新たに設けられる最も厳しい区分に適用される開口部の熱貫流率基準は一から三地域が一・六〇W/mK、四地域が一・三三W/mK、五から七地域が一・四九W/mKというものです。開口部比率が一から三地域で一四%を超える場合や四から七地域で一五

開口部比率が一から三地域で一四%を超える場合や四から七地域で一五

%を超える場合は性能基準よりも甘くなるケースも考えられるとしながら、まれなケースであることから規定の窓を使うことで「適合」とする考えとなります。

新しい基準のうち、二〇一六年四月施行予定の省令・告示分(基本方針・性能向上計画認定・容積率特例制度、表示制度など)については、十月ごろ一般からの意見を募集し、最終的な調整ののち年内の公布を予定しています。

なお、二〇一六年一月頃から建築物省エネ法第一弾施行に関する講習会を行う予定です。

再エネ固定価格買取制度改革 本格検討がスタート

経済産業省は再生可能エネルギーの最大限導入に向け、固定価格買取制度を含めた制度改革の検討を始めました。九月十一日、総合エネルギー調査会基本政策分科会の下に新たに設けられた再生可能エネルギー導入促進関連制度改革小委員会の初会合が開かれました。委員長は山地憲治・地球環境産業技術研究機構理

事・研究所長が就任しました。再生可能エネルギーの導入については、七月に公表されている長期エネルギー需給見通しで、電源構成の再生可能エネルギーの割合を二から二四%にするという方向性が示されています。同省委員会では、エネルギーごとの特性や導入の実態を踏まえて、その実現に向けた仕組みの構築を目指します。その際、国民の負担の抑制という観点や電力システム改革とあわせて効率的な電力取引・流通の実現についても関連して仕組みを構築していきます。

初回の議論では、国民など受給者の負担への配慮に関する発言が多く出されました。産業界からは、震災後、電力コストが四割上昇したというデータを紹介しながら、コスト上昇が事業継続に深刻な影響を与えていると報告しました。

一方、自由化されたエネルギー市場で、需要家が求めるエネルギーを伸ばしていくような仕組みにしていくべきという意見も出されました。

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

国土交通省は九月九日、住宅瑕疵担保履行制度の活用方法などを検討する「住宅瑕疵担保履行制度の新たな展開に向けた研究委員会」の初会合

水害で再認識した

豪雨対策の
基本は適切な防水!

FRP再施工



一面、二面において、豪雨による被害とその後処理についてご案内しておりますが、水害などに至るレアケースだけではなく、昨今の夏季から秋にかけては、当たり前のようにゲリラ豪雨が発生しています。

当社独自の2PLY+ドレン部の「サンドウィッチ工法」が最大の特徴。創業以来五万棟以上の施工実績で培われた技術により、漏水事故ゼロ件の信頼を獲得しています。ガラスマット一層の場合では、立ち上りの塗膜不足や入隅・ジョイント部分の動きが大きい場合に不安が残りますが、ガラスマット二層に中塗り、トップコートという手順の場合、入隅部が四層になるため安心です。

ドレン部分には、前述の「サンドウィッチ工法」を採用し、躯体の動きに追従して破断、ひび割れ、剥離を防ぎます。また、戸建でのバルコニーに対するFRP防水以外、商業ビルや集合住宅にはウレタン、シート防水(塩ビ・ゴム)を用いています。

落とし穴がたくさんさらに定期点検・メンテナンスを実施しています。特に、戸建でのバルコニーにおいては、日常生活での履物によるトップコートの損傷や、ドレン部分の詰まりによるオーバーフローなどの対策は必要不可欠です。

FRP防水は一〇年保証です。しかし、防水層を保護するトップコートの塗り直しなどをしないと、防水効果が薄れていくこともあります。シート防水の場合、特に多いのが、ジョイント部分の剥がれがです。風雨や直射日光などによって、シート接着面の強度が低下するためです。

さらに、経年劣化による浮き、膨れ、シワや、押さえ金物や他の部材などとの取り付け部分にも剥がれや隙間、材料の収縮などが発生します。家の長持ちさせるには、適切な防水処理と定期点検・メンテナンスは必要不可欠。雨のシーズンを過ぎても、油断大敵です。躍進までお気軽にご相談ください。お電話をお待ちしています。

躍進では数々の商品を常時取り揃えております。

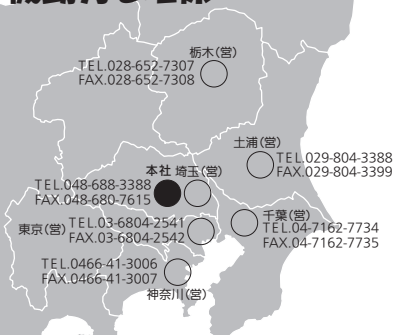
工 事 事 業 防水 木材保存 外壁・屋根 塗装 地質調査・改良 基礎・スーパーエアドーム工法 建て方・大工 リニューアル・リフォーム オール電化 太陽光発電
プレカット事業 プレカット 建て方 大工工事
設 計 事 業 設計 商業施設 インテリアコーディネーター
不 動 産 事 業 不動産売買・仲介 不動産再活(再生・活用)・リノベーション(プランニング・施工) ファイナンシャルプランニング コンサルティング業務(目的・資産価値の最大化/相続対策/資産運用/事業承継対策/M&A/住宅ローンアドバイザー/不動産管理)

提 携 先

弁護士/公認会計士/税理士/司法書士/ファイナンシャルプランナー(CFP/AFP)

躍進
営業所の所在地

東北地区もエリアにおさめ
「百年企業」としての
機動力を確保!



株式会社

躍進

お気軽にお問い合わせ・ご相談下さい。

躍進

検索

をクリックして下さい。

本 社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
☎048-688-3388 ☎048-680-7615

東 京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFLビル2F
営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542

各営業所: 神奈川、埼玉、千葉、土浦、栃木、仙台

URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社

株式会社
ヤクシンジャパン

関連会社

株式会社
First Arrow
ファーストアローズ